令和6年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：37003
学校名：八軒中学校

	令和５年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査　結果		分析
体力・運動能力 ＜男子＞	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、長座体前屈、反復横跳び、50m走、ハンドボール投げ	○前回の記録より下回った種目 上体起こし、20mシャトルラン、立ち幅跳び	昨年度の本校生徒の記録と比較すると、男女とも前回の記録と同程度もしくは上回った種目が多く見られる。
体力・運動能力 ＜女子＞	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ	○前回の記録より下回った種目 上体起こし、反復横跳び	その理由として、感染症の制限がほぼ無くなり、体育の授業、昼休みの活動、部活動などの場面で運動量が増加したことが考えられる。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	・「運動やスポーツは大切なもの」と回答する生徒の割合 R4 男子 66.1%、女子 46.4% R5 男子 76.7%、女子 56.0%	・「保体の授業でﾀﾌﾞﾚｯﾄなどの ICT を使って学習することで、できたりわかったりすることがいつもある、だいたいある」と回答する生徒の割合 男子 61.6%（全国平均 55.8%） 女子 64.0%（全国平均 54.7%）	「運動やスポーツは大切なもの」と考える生徒の割合が増加した。コロナによる活動制限を経て運動・スポーツのもつ価値に気づく生徒が増えていると考えられる。また、『学び合い』の場面では ICT 機器も活用し、活動を少しでも充実させていきたい。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実
具体的な取組	○日々の教科指導の充実 ・１人１台のタブレット端末を有効活用した学習活動を推進し、子どもが自らの課題を発見し、目標をもって取り組めるようにする手立ての工夫 ・体育科教師間の情報共有 ・主体的・協働的に学ぶ学習形態の工夫 ・準備運動の工夫による運動の質・量の確保 ・自己の興味・関心に応じて運動の仕方を工夫する学習	**さっぽろっ子自治的な活動の推進** **「プラスのまほう」を意識する** ○昼休み等のグラウンド・体育館開放など運動機会の充実を図る環境整備の推進 ・体育的行事に向けた練習活動 ・陸上競技大会の実施 ・行事終了後の練習活動の継続 ・日常活動に運動を取り入れる働きかけ ○夏休み中、毎日継続して運動すること（特に全身持久力の向上を目指す）を全校生徒への必修課題として提示し、２学期に検証する	○感染予防に配慮した学習の推進 ○発達の段階に応じた性に関する指導の充実 ○養護教諭や外部人材の活用による健康教育活動の充実 ○保健体育科の教科指導における養護教諭や栄養教諭との連携・共有 ○助産師等の外部指導者の活用 ○健康に関する題材を扱う教科について教師間の共有 ○夏休みの課題として、持久力を向上させるためのトレーニングを各自で考案し、実行して２学期にトレーニングの成果を長距離走のタイムで確かめる。

家庭・地域との連携・協働

消防署と連携し、2学年生徒を対象に「心肺蘇生法」の実習をおこなう。（案）
「性に関する指導」で外部から有識者を招いて講演会を実施。講演会は保護者にも積極的に参加を呼びかける。（案）